

10/17 (水) の行事

報道発表資料の配付日時 10月16日 (火) 11時00分

発表項目 (行事名)	平成30年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構職員表彰の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道立総合研究機構（道総研）では、北海道の産業開発や道民生活の向上に特に貢献した研究・発見を行った職員等に対して、知事賞・理事長賞を授与しております。</p> <p>今年度については、辻副知事ご臨席のもと、以下のとおり執り行いますので、お知らせいたします。</p> <p>実施日時 平成30年10月17日 (水) 14:00～15:00</p> <p>場 所 京王プラザホテル札幌 3階 雅の間</p> <p>知事賞 研究名「石狩湾ニシンの資源管理に関する技術開発」 水産研究本部ニシン資源管理チーム</p> <p>理事長賞 研究名「北海道における主要針葉樹の腐朽病害防除と次世代林造成への貢献」 腐朽病害対策チーム</p> <p>研究名「使用済み乾電池由来酸化物粉末を用いたアルミニウム合金リサイクル用濃度調整剤およびこれを用いたアルミニウムリサイクル方法の開発」 電池滓利用技術開発チーム</p> <p>研究名「高温・高圧水マイクロ化学プロセスを利用した機能性糖鎖「コンドロイチン硫酸オリゴ糖」の製品技術開発 「コンドロイチン硫酸オリゴ糖」の製造技術開発チーム</p> <p>研究名「北海道の津波災害履歴の研究」及び「日本海沿岸域における過去最大級津波」の復元 津波堆積物研究チーム</p>		
参 考	表彰式では、併せて永年勤続表彰も実施いたします。 対象者 23名		

報道（取材） に当たって のお願い	この表彰は、職務に有益な研究を遂げ、その研究により新規に発明発見した成果において、北海道の産業開発、道民の生活文化の向上に特に貢献した研究を行った職員に知事賞・理事長賞を授与するものです。 当日は、記者席を設けますので、積極的な取材をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担 当 (連絡先)	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 経営企画部 (担当：富永) 電話 011-747-2796 (直通) 011-747-0200 (内線) 212		
--------------	---	--	--

研究・発明発見受賞研究概要

○知事表彰

研究名	石狩湾ニシンの資源管理に関する技術開発
研究概要	石狩湾ニシンの安定的・持続的な利用を図るため、資源管理に関する技術開発に取り組み、的確な資源管理施策を提言するなど、資源管理を実施する体制の構築で資源の持続的な利用が可能となり、本道水産業の振興に貢献した。

○理事長表彰

研究名	北海道における主要針葉樹の腐朽病害防除と次世代林造成への貢献
研究概要	全道約200カ所の調査により、トドマツ人工林における根株腐朽被害の発生実態と腐朽菌の主要な感染経路を明らかにし、感染を遮断する有効な防除法を検討し、腐朽発生が抑制されるなど本道林業の振興に貢献した。

研究名	使用済み乾電池由来酸化物粉末を用いたアルミニウム合金リサイクル用濃度調整剤およびこれを用いたアルミニウムリサイクル方法の開発
研究概要	「廃棄物で廃棄物をリサイクル」を目的とし、企業との共同研究を実施し、低コストで簡便かつ環境負荷にも配慮することができるアルミニウムリサイクルが実用化されるなど本道産業の振興に貢献した。

研究名	高温・高圧水マイクロ化学プロセスを利用した機能性糖鎖「コンドロイチン硫酸オリゴ糖」の製品技術開発
研究概要	コストの問題で製品化されていなかった「コンドロイチン硫酸オリゴ糖」を、低コストかつ極めて効率的に製造する方法を確立し、北海道の天然資源を原料に製品化を実現し商品化されるなど、本道産業の振興に貢献した。

研究名	「北海道の津波災害履歴の研究」及び「日本海沿岸域における過去最大級津波の復元」
研究概要	日本海沿岸及びオホーツク海沿岸で、新たな津波堆積物認定手法を加え、調査を実施し検討した結果、新たな津波堆積物を発見し、道や国等に提供し、日本海沿岸の津波想定の基本資料となり、本道の安全・安心の確保に貢献した。